



「AI時代のモノ作り」

代表取締役 山口 哲生

本格的に始まったAI(人工知能)は、それまで単なる知識だけでやってこられたビジネスを急速に衰えさせ、むしろ体に身につけた技術や技能を発揮するビジネス(仕事)が脚光を浴びるのではないかとわれ始めています。

しかしながら、我々のように「モノ作り」をやってきた者からすると本当に儲かるものかという疑問があります。やはり、「モノ作り」を高収益性の期待できるビジネスに変えていくには何かが必要なのです。

ひとつのヒントとして「ソフト化」することだと言われています。ソフト化とは「情報、サービス、企画、デザイン等々」の要素を付け加えることです。

どちらにしても適正な投資を行ない、人材を集め育成していくにも、手足を使ったモノ作りをより収益性(付加価値)の高いビジネスに引き上げていくことが我々の課題となります。

— 以上 —

“Manufacturing in the Age of AI”

As AI (artificial intelligence) has begun to take hold in earnest, it is more said that businesses having relied solely on knowledge so far will rapidly decline, while businesses and jobs making use of hands-on techniques and practical skills acquired through experience will come into the spotlight instead.

For those who have long been engaged in manufacturing, however, there remains the question of whether it can truly become highly profitable. In the end, something more is needed to transform manufacturing industry into one with strong profitability potential.

One hint, it is said, lies in “informatizing” manufacturing. This means adding elements such as information, services, planning, and designs, or digitalizing them for more value.

In any case, to make appropriate investments and to attract and develop talented people, our challenge is to elevate hands-on manufacturing into a business with greater profitability and higher added-value.

Tetsuo Yamaguchi
President, Kyowa Kikoh Co.,Ltd.



Vol.42 レグ起伏式小型SEP（自己昇降式台船）

SEP (Self Elevating Platform) は、海底に脚(レグ)を設置し、台船を海面より持ち上げることで、波の影響を受けにくい安定した状態で海洋土木工事を行うための装置です。洋上風力発電設備の設置工事や港湾工事など、海上施工に欠かせない設備として活用されています。

今回製作したSUS製SEPは、従来機よりも小型化したモデルで、主に地質調査用として使用されます。河川や沿岸部など、水深2～10m程度の浅い場所で行うボーリング調査に適しており、さまざまな現場で活躍しています。従来型のSEPは、レグを起立した状態で固定しているため、高さ制限のある橋桁等の下を通過することができませんでした。そのため、都市部の現場では製品を分割し、トラックで輸送したうえで現地組立を行う必要がありました。

一方、レグ起伏式小型SEPはレグを伏せて収納できる構造を採用しています。これにより、製品を分割することなく曳航・運搬できるため、現地での組立作業が不要となり、輸送コストの削減や作業時間の短縮を実現します。

協和機工では、SEPのオーダーメイド製作にも対応しています。お客様の用途や現場条件に合わせて、最適な設計・製作をご提案いたします。



レグを収納した状態

脚(レグ)



レグを起立した状態(地質調査の様子)

2026年度 4月期入社式

2026年4月1日（水）、2026年度4月期の入社式が執り行われました。

取締役をはじめとする幹部社員列席の中、6名が協和機工の一員として加わりました。5月1日より各部署に配属された皆さんの今後の活躍に期待しています。



河原 凜	Rin Kawahara
金子 拓実	Takumi Kaneko
横尾 純	Kiyoshi Yokoo
永田 陽樹	Haruki Nagata
平田 健	Ken Hirata
川田 美海	Miyuu Kawata (敬称略)

内閣官房 海外ビジネス投資支援室 ご来訪

2026年5月21日に内閣官房/海外ビジネス投資支援室より高村室長、奈良内閣参事官、田中参事官補佐が、海外ビジネスの状況や今後の課題などのヒアリングと意見交換のため、ご来訪されました。

はじめに奈良内閣参事官より支援室についてご説明いただき、当社より会社説明を行った後に、質疑応答および施設見学を行いました。
内閣官房の皆様との意見交換は、当社にとって大変有意義な時間となりました。



第47回 創立記念式典 the 47th anniversary of foundation

去る4月6日(月)に第47回創立記念式典が執り行われ、山口社長より創立記念日を迎えての挨拶が述べられました。また、優良社員への表彰、勤続15年を迎える社員への永年勤続者表彰が山口社長より授与されました。

本日、第47回目の創立記念日を皆さんと迎えることができましたことを喜び感謝申し上げます。
現在、我々を取り巻く環境は世の中の動きに大きく左右され、予想がつかない厳しい状況です。その中で、協和機工の真骨頂である「リアルなモノ作り」を実現し続けるためには、組織としてその中の私達自身が変わることが単なる“挑戦”ではなく“must”であると胸に刻んでいただきたい。又、これまで女性、高齢者、外国人といった方々の多様な雇用環境の整備に取り組んで来ました。今後も更にそれぞれが力を合わせ、協調と和の精神で頑張っていきましょう。



▲協和機工 代表取締役社長 山口 哲生



▲協和機工労働組合 執行委員長 小谷 真悟

本日は、創業47周年おめでとうございます。昨年は閑散期が続いている中に突発的に忙しくなるような不安定な一年でありました。また、イラン攻撃による燃料不足と物価高騰もあり、仕事と生活の両方で不安を感じている方もおられると思います。皆様とともに一致団結し、これらの不安や困難に打ち勝ち、次回の創立記念日もともに迎えられることを祈念しまして祝辞といたします。

- ◆ 永年勤続15年表彰
 - (協和産業 工作部陸機課加工係) 田渕 裕二 氏
 - (工作部船殻課) 田崎 進一 氏
 - (協和産業 工作部陸機課加工係) 田崎 修 氏
 - (協和産業 工作部陸機課加工係) 田崎 靖 氏
 - (予算管理センター資材) 渡邊 秀之 氏
 - (営業部東京支店主任) 白石 直人 氏
 - (工作部陸機課機械係) 寺田 一亀 氏
 - (工作部特殊溶接課係員) 久保 彰真 氏
- ◆ 創立記念日特別表彰
 - (工作部陸機課 製缶係班長) チャン チュン ティン 氏
 - (工作部陸機課組立係) 熊本 光希 氏
 - (管理本部社長室) 金松 瑠依 氏

特定技能社員・技能実習生入

特定技能社員5名が2026年4月1日、技能実習生1名が2026年5月1日に入社しました。これから、現場の即戦力となることを期待しています。



モルック大会

5月17日(日)、福岡県筑紫野市で開催されたモルック大会に3チームで参加しました。全28チーム中1チームが見事9位に入賞し、表彰を受けました！7月にも福岡で開催される大会への出場を予定しています。さらなる上位入賞を目指して頑張ります！



人事通信

—令和8年6月1日現在—



人事異動 (敬称略)

◆2026/4/1付

・総合品質管理部 生産管理課
(兼) 工作部 生産計画課 機械工程担当
中村 七海 (旧. 総合品質管理部 生産管理課)

・総合品質管理部 品質管理課
石田 嶺太郎 (旧. 工作本部 生産計画課)

◆2026/5/1付

・工作本部 船殻課 課長
内野 学 (旧. 総合品質管理部 検査課 係長)



ご誕生おめでとうございます！

令和7年10月生まれ

工作本部 陸機課製缶係 班長
NGUYEN PHUOC THONG 氏

第一子 長男

クアン

QUAN くん



令和8年3月生まれ

総合技術部 一般産業Gr
NGUYEN QUOC KHANH 氏

第一子 長女

カン リン

KHANH LINH ちゃん



合格おめでとうございます！ (敬称略)

・ビジネス・キャリア検定3級 生産管理オペレーション

令和7年12月26日 交付

PHAM SON LAM(工作本部 陸機課加工係)

TRAN THANH HUNG(工作本部 陸機課製缶係)

DANG TAN PHAT(工作本部 オフショア課)

THAI VAN NGOC TRONG(工作本部 特殊溶接課)

LE THANH HUY(工作本部 陸機課加工係)

令和8年3月13日 交付

TRAN VAN PHUC(工作本部 特殊溶接課)

・製造分野特定技能2号評価試験

令和8年3月11日 交付

LUU MINH HOA(工作本部 オフショア課 班長)

NGUYEN TRONG NGOAN(工作本部 特殊溶接課)

VUU DAC TINH(工作本部 陸機課機械係)

THAI VAN NGOC TRONG(工作本部 特殊溶接課)

LE THANH HUY(工作本部 陸機課加工係)

NGUYEN KHAC QUY(工作本部 陸機課機械係)